

# 西陣CROSS Week 2022

西陣呼称555年記念事業

期間

2022年11月11日(金)~11月15日(火)



西陣  
555  
NISHIJIN



本年(2022年)が「西陣」名称の起源とされる  
応仁の乱(1467年)から起算してちょうど  
555年目に当たることを契機として、西陣織  
の伝統技と美を知っていただくとともに、西  
陣地域の魅力を発信します。



本事業のサイト  
につながります。

## 西陣の歴史

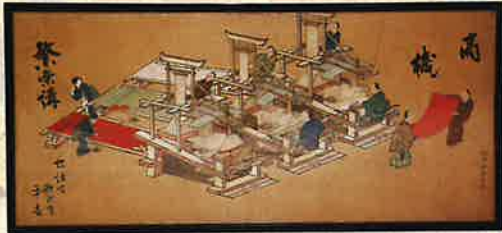
西陣織の起源は古く平安朝創設以前にまでさかのぼることが出来ますが、今から555年前、国を二分する応仁の乱が京都で起こりました。東軍と西軍に分かれて行われたこの戦は11年間にも及びました。

この戦乱で、朝廷の織物を司っていた職人たちは、堺や山口などに難を逃れました。戦乱後、職人たちは、山名宗全が率いた西軍の本陣跡一帯にもどり、織物を盛んに織り出しました。「西陣」という名称はここから起こりました。

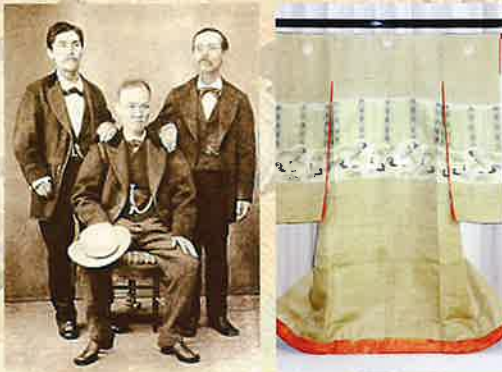
以降、西陣織はその時々<sup>いせいしや ひご</sup>の為政者の庇護もあって大きく発展し、華やかな桃山文化や元禄文化の開花にも、西陣織は重要な役割を果たしてきました。

明治を迎えると、東京遷都により西陣をはじめ京都の産業は急激に衰退しました。そこで明治5年、京都府は西陣から3人の留学生をヨーロッパに派遣、ジャカードをはじめとする近代織物技術を導入し、精緻な高級織物の量産を可能としました。それ以降、西陣織はわが国高級織物の代名詞としてその地位を確かなものとしてきました。

近年、西陣業界をとりまく状況は大きく変わりつつありますが、高度な技と洗練された意匠に培われた西陣織は、これからも私たちの生活に豊かさと潤いを届け続けます。



高機(たかはた)の図(一財・西陣織物館蔵)平安時代から明治のはじめまでの西陣織は高機(空引機)とよばれる機をつかって、二人がかりで織りあげていた。



西陣近代化への期待を担ってフランスへ留学した吉田忠七・井上伊兵衛・佐倉常七(左から)(掃国直前リヨンにて撮す)。



きもの以外にも西陣織は様々なアイテムがあります。写真(下)は人気のネクタイ。

## 西陣織の特徴

西陣織の最大の特徴は、糸の状態<sup>さきぞめ</sup>で染めてその糸を使って文様を織り出す「先染紋織物」であるということです。色とりどりの糸が機にかけられ、見事な織物となるには多段階に及ぶ複雑な「分業工程」を経なければなりません。

まず、①デザインや色、織組織<sup>おりそしき</sup>を決めて紋紙をつくる(企画製紋工程)、②必要な経糸と緯糸<sup>たていと よこいと</sup>を準備する(原料準備工程)、③織機、ジャカード、綜統<sup>そうこう</sup>、箆<sup>おさ</sup>、杼<sup>ひ</sup>などを用意する(機準備工程)、④織り進める(製織工程)、最後に⑤織物を整える(仕上げ工程)となり、これら5段階、15~20の工程を経て誕生します。

昭和51年、西陣織は国の「伝統的工芸品」に指定されました。その指定品目は、綴<sup>つづ</sup>れ、経錦<sup>たてにしき</sup>、緯錦<sup>ぬきにしき</sup>、緞子<sup>どんす</sup>、朱<sup>しゆ</sup>珍<sup>ちん</sup>(繻<sup>しゅう</sup>珍<sup>ちん</sup>)、紹<sup>しょう</sup>巴<sup>は</sup>、風<sup>ふう</sup>通<sup>つう</sup>、緞<sup>もじ</sup>り織<sup>もじ</sup>、本<sup>ほん</sup>しば織<sup>しば</sup>、天<sup>てん</sup>鷲<sup>じゆ</sup>絨<sup>じゆ</sup>、緋<sup>ひ</sup>織<sup>ひ</sup>、<sup>ビロード</sup>、<sup>かすり</sup>、<sup>つむぎ</sup>紬<sup>つむぎ</sup>の12種です。

また、その用途はきわめて多様で、帯やきもの、能装束<sup>どんちゆう</sup>や有職織物<sup>どんちゆう</sup>など和装品、ネクタイやショール、緞帳<sup>どんちゆう</sup>、インテリア織物などがあり、いずれも多品種で少量生産となっています。

西陣の過去・現在・未来が交差する

# 西陣 CROSS Week 11月11日(金)～15日(火)

## 西陣金欄展

**期間** 11月11日(金)～15日(火)

**場所** 西陣織会館4F

金欄(きんらん)とは、西陣織を代表する紋織物のひとつで、主に宗教関係の装飾や装束、掛け軸などの軸装、人形衣裳など幅広く使用されています。その名前が示すとおり金箔や金銀糸を用いて紋様が浮き出るように織られた、きらびやかさがその特徴です。今回、代表的な逸品を展示します。



## 西陣GoGoマルシェ

**日時** 11月13日(日)10:00～16:00

**場所** 西陣織会館屋外

西陣CROSS Week期間中の1日だけのspecialな企画。西陣には織屋関係以外にも様々な業種が集まっており、多くの銘店が軒を連ねています。その中から、飲食店を中心に選りすぐりの銘店が西陣織会館広場に集結。西陣地域の地場産品の素晴らしさを堪能していただけます。

## 西陣555年記念特別きものショー

**日時** 11月11日(金)・12日(土)  
10:30～、13:30～、15:00～

**場所** 西陣織会館3F

60年以上の歴史がある「西陣きものショー」を約3年ぶりに開催。今回は西陣の「過去」「現在」「未来」をテーマに特別きものショーを2日間限りで上演。

OSK日本歌劇団娘役トップスター  
舞美りらさん 出演!



## 2022京都・ミスきものも出演!



## 空引機の再現と実演

**期間** 11月11日(金)～15日(火)

**場所** 西陣織会館1F

平安の昔から、明治時代に「ジャカード機」が輸入されるまで、使われていた手織機です。機の上部に空引(そらひき)をする人が上がって経糸を引き上げ、それに合わせて下の織手が緯糸を通すことによって、文様を織り出す構造となっています。今回展示する「空引機」は、55年前に西陣織工業組合が当時の資料等を元に完全復元したもので、13年振りに組み立てを行い、実演も行います。



## きもので散策

**期間** 11月11日(金)～15日(火)

**場所** 西陣界隈

西陣地域には、織屋はもちろん、西陣関連工程の工房など西陣織に関わる会社や企業がたくさん存在しているほかに、ミュージアムや有名な神社仏閣、飲食店やその他様々なジャンルの会社やお店が集まっています。

この度、一緒に西陣地域を盛り上げていただける会社やお店を募り、「西陣CROSS map」を作成しました。mapを持って訪問していただくと、思わぬ特典を受けられるところもあります。この他にも西陣織会館でプロのカメラマンによるきもの姿の撮影会や散策ツアーも予定しています。詳しくはHPをご覧ください。



11月11日の「西陣の日」から、11月15日の「きもの日」までの5日間、「西陣・西陣織」の「過去」「現在」「未来」をテーマに多くの人々が交差し、未来を創るべく、多数の催しを展開します。

入場無料

申込不要

## 西陣貼交屏風展

**期間** 11月11日(金)～15日(火)

**場所** 西陣織会館5F

西陣では古来より織物を屏風に貼り合わせ、記念のしるしとして、また記録として遺しておく習わしがありました。貼交屏風は使用する前の織物を貼り合わせたものであるため状態がよく、織物の鮮明さが保たれており、組織・色彩・意匠などから制作当時の西陣織の技術・技法や流行の変遷などを知ることができます。今回は過去の貼交屏風を一同に展示するほか、555年を記念して新たな貼交屏風を制作し、お披露目する予定です。



## 西陣呼称555年 記念展 「所蔵の逸品 一『綾錦』を中心に」

**期間** 9月6日(火)～12月20日(火)

**場所** 西陣織会館3F

かつて貴重な染織品の記録を残すために画家や図案家によるその成熟された技術によって本物の織物のように再現した模写を「綾錦」と言います。今回は、貴重な原画と、原画の元となった染織品などを同時に公開します。ぜひご覧ください。



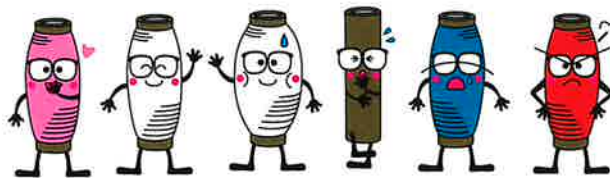
## 西陣designグランプリ

**期間** 11月1日(火)～15日(火)

**場所** 西陣織会館1F

西陣織の魅力さをさらに深め、産業と文化の融合による「新しい西陣織の価値の創造」を目指すべく、西陣織をテーマとした斬新なデザイン・アート作品を幅広く募集。西陣CROSS Week期間中、応募作品を西陣織会館で展示し、西陣織会館のアートスポット化を図ります。また、来場者の皆さまに投票していただき、最終日に優秀作品の表彰を行います。

西陣織×アートの作品が  
ずらりっ!



## 西陣関連工程職人による技の実演

**期間** 11月11日(金)～15日(火)

**場所** 西陣織会館2F

西陣織は分業体制によって成り立っており、製織に至るまでには数多くの準備工程が必要となります。今回、皆様普段あまり見る機会のない準備工程の作業を西陣織会館で一同に実演していただくこととなりました。美しい西陣織ができるまでの工程の熟練された技をぜひご覧ください。



## 西陣BAR inきもの日

**日時** 11月15日(火)18:00～

**場所** 西陣織会館6F

「西陣CROSS Week」のフィナーレは、みんなできものを着て「日本酒で乾杯」!

西陣地域を支える織文化と食文化を楽しみながら、「更なる未来へGoGoGo」をコンセプトに、西陣・西陣織をテーマに挑戦を続ける若い力や、西陣をこれまでも、これからも支える織元たちと語り合う交流会です。



2023年1月に、京都発祥の「日本酒乾杯条例」は制定10周年を迎えます。

## 「西陣呼称555年記念事業」3つの柱

### 西陣の過去 …… 先人の技と美の再発見、再認識

西陣・西陣織のこれまで重ねてきた歴史や高度な伝統技と美を回顧し、その魅力を広く発信する。

### 西陣の現在 …… 上質な日常の提案

きものや帯に代表される織の文化を、生活や人生の様々なシーンに身近に取り入れてもらうことができるよう、多様な機会の提供・提案を行う。

### 西陣の未来 …… 未来につながる柔軟な融合とイノベーション

西陣・西陣織の持つ力を活かし、これまでにない素材・技法・発想等により、未来につながり、その魅力が活かされる取組を推進する。

## Identity

### アイデンティティー



### 西陣織公式キャラクター「ニシジンくん」

「西陣織をより身近に、より深く知っていただく！」をコンセプトに西陣連合青年会が中心となって生み出されたキャラクターです。西陣織を織る緯糸を巻いておく「管」と「絹糸」をイメージしています。西陣呼称555年を記念して公式キャラクターに認定されました。今後の西陣産地の発展と繁栄を願い、皆様に広く愛してもらえるよう務めます。



### 西陣呼称555年記念ロゴマーク

織組織である経糸と緯糸の交差と、京の街の碁盤目のイメージをかけあわせ、多くの職人の技術を合わせて織物を生み出してきた、西陣の共創を表現しました。西陣呼称 555 年を機に西陣が一丸となって、歴史と伝統を未来につなげ、広げていくという強い意志を、拡張する糸で表現しています。

## 西陣呼称555年 賛助会員募集！

西陣呼称555年記念事業に協賛いただける賛助会員を募集しています。

#### 期間

令和4年1月~令和5年3月

#### 協賛金

一口1万円(何口でも結構です)

#### 特典

記念ポスター2枚進呈。記念ロゴマークのデータを提供。  
ホームページに賛助会員名を掲載させていただきます(希望者のみ)。

#### 手続き

ホームページ記載の申請書を提出ください。




詳しくは  
こちらから



## 各種SNSでイベント情報 などを発信しています。

 Nishijin Textile Center

 西陣織工業組合

 nishijinorikaikan

 nishijinorikogyokumiai

フォローをお願いします！





## 西陣CROSS Week期間外の事業

### ■ 西陣織東京展

「京都西陣織の魅力・西陣と呼ばれて555年」

**期間** 11月4日(金)～8日(火) 10:30～19:30(8日は18:00まで)

**場所** 日本橋高島屋8階 **入場無料** **申込不要**

長い歴史と伝統に培われた西陣織の高い技術とその美しさの魅力に迫ります。至宝品(西陣爪搔本綴織「風神雷神図」)の展示や職人の実演、西陣織製品の販売などを行います。

### 西陣爪搔本綴織「風神雷神図」

縦約2mの大作の綴織掛け軸。



### ■ 西陣金襴展「西陣ゴゴゴッ」

**期間** 11月1日(火)～13日(日)

**場所** 堀川新文化ビルチング(京都市上京区) **入場無料** **申込不要**

嵯峨美術大学の学生と西陣金襴のコラボ作品を展示します。

### ■ 京阪沿線ぶらり

芸術(アート)めぐり

**期間** 2022年10月～2023年3月

**HP** <https://www.okeihan.net/burari/navi/form/>



京阪沿線に点在する歴史と伝統・文化さらに現代にいたるまでの“芸術”にスポットをあてた「アート講座」や「アート・ガイドウォーク」を開催します。11/12(土)は西陣織の文化や歴史に触れるアート講座、11/24(木)はシェアサイクルPiPPAの乗車体験と専門家の案内で西陣のまちを巡るアート・ガイドウォークを開催。おけいはん.ねっとによる事前予約制です。

### ■ 京阪電車×PiPPA

駅から西陣エリアをポタリング

#ここも京阪 キャンペーン

**期間** 2022年10月1日(土)～12月4日(日)

**HP** <https://pippa.co.jp>



散歩のようにゆったり自転車で走るポタリング。シェアサイクルPiPPAで「ポタリ」ながら新たな西陣の魅力を探しませんか。ご提案するおすすめのスロットや観光コースをめぐりながら、西陣のお気に入り写真を投稿してください。

## Access

### 西陣織会館(西陣織工業組合)

〒602-8216

京都市上京区堀川通今出川南入西側

**TEL** 075-451-9231

**休館日** 毎週月曜日(11/14は開館)、12/29～1/3

**開館時間** 10:00～16:00

**入館料** 無料

#### 【地下鉄】

烏丸線「今出川」駅下車 徒歩約10分

#### 【市バス】

最寄バス停「堀川今出川」下車 徒歩1～2分

京都駅より=9番 約30分・101番 約20分

四条河原町・四条烏丸より=12番 約20分

四条大宮より=201番 約15分

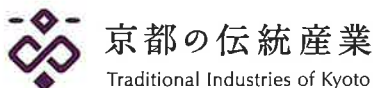
三条京阪より=12番・59番 約25分

京阪出町柳より=201番・203番 約15分

公共交通機関でお越しください。



Google Map



主催: 西陣織工業組合  
共催: 京都府、京都市

協力: 京阪ホールディングス株式会社  
京阪電気鉄道株式会社  
株式会社Clew



京都市印刷物 第0444357号  
発行: 令和4年8月  
京都市産業観光局クリエイティブ産業振興室